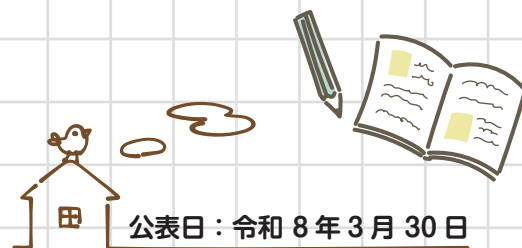


令和7年度

COMPASS 発達支援センター・飯塚 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年3月30日

○事業所名	COMPASS発達支援センター・飯塚		
○保護者評価実施期間	～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 9月 12日		～ 2025年 9月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	～		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	0	(回答数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができております。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなどについて社内で定期的な勉強会を実施しております。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない、職員の更なるスキルアップに努めてまいります。
2	職員同士が密に話し合いをおこなっているため、支援方法や内容などを相談しながら決定できる体制を整えております。	職員が話し合いをできる環境を整え、情報共有を密におこなっております。	引き続き、職員間で話し合いをおこない、よりよい関わりや支援方法を共有し、取り組んでまいります。
3	COMPASSでは関係機関からの相談や依頼に対して、迅速に対応できる体制を整えております。	必要に応じて即日対応や早期訪問ができるようにしております。訪問前後の情報交換をこまめにおこなうことで、支援内容のズレを防ぎ、現場ニーズに合った助言ができるよう工夫しております。	緊急性や状況によって、より迅速で的確な訪問支援がおこなえるよう取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の支援年数が比較的浅く、経験を要するケースへの対応に不安が生じる場面があります。多様な支援ニーズへの判断力や助言内容の幅広さにおいて、経験豊富な支援者と比べ課題が見られます。	業務の中で、ベテラン職員との同行支援や振り返りの機会が十分に確保できておらず、経験値を効果的に積みにくい状況となっております。	経験豊富な訪問員との同行訪問を計画的に実施し、観察の視点、助言の方法、関わり方などを実践の中で学べる体制を強化してまいります。
2	訪問員が1名のため、複数事例が重なった際には訪問調整が困難になりやすい状況が想定されます。	人員確保が難しい状況が続いており、訪問支援を担当できる職員の層が厚くないことが要因となっております。	ほかの職員が最低限の訪問対応や相談対応ができるよう、基本的な支援内容や訪問の流れを共有し、簡易的なバックアップ体制の整備に努めてまいります。
3	保育所等訪問支援の開始から日が浅く、事例での対応方法、訪問時の観察視点、助言の仕方など、経験に基づく判断が十分に蓄積されておられません。	保育所、学校側も利用方法や依頼手順に慣れておらず、双方で調整に時間を要することがあります。	訪問後の振り返り、ケース検討、先行事例の学習などを定期的におこない、経験の少なさを補います。支援の良かった点、改善点を明確にして次の訪問に活かす仕組み作りをおこなってまいります。

